

【B】 22. 就業規則

1. 常時10人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成しなければなりません。
(労働基準法第89条)

■ 労働者には、パートタイム労働者や臨時労働者等も含まれます。

■ 常時10人未満の労働者を使用する使用者は、就業規則について法的な作成および届出義務はありませんが、人材の確保や従業員との無用なトラブルの未然防止などの効用を考えれば、就業規則を作成しておくことが望まれます。

2. 常時10人以上の従業員を使用する事業場において、使用者が就業規則を作成したとき、または、就業規則の内容を変更したときは、従業員代表の意見書を添付して、所轄労働基準監督署長に届け出なければなりません(原則、事業場ごとに届け出)。

(労働基準法第89条、第90条)

<就業規則作成のメリット>

■ 職場の労働条件と服務規律を明確にすることにより、

① 使用者にとっては、職場秩序を確立し、組織的、効率的な企業運営ができます。

② 従業員にとっては、労働条件がはっきりし、安心して働くことができます。

【チェックポイント】

・就業規則を、管轄する労働基準監督署に届出しなければならない事業場において届出されてますか？ ☐

・事業場が複数ある場合で、本社で一括届出している場合、届出の写しが各事業場に備え付けてありますか？ ☐

※労働者が常時10名未満の営業所は「該当しない」

項目判定

☐ 適 ☐ 否

☐ 該当しない